

国等へ新東名高速道路の整備推進などを要望しました

令和2年11月13日（金曜）

新東名高速道路は、我が国の社会経済活動の根幹を担う新たな大動脈であり、重要な道路です。このため、神奈川県、愛知県、静岡県、名古屋市、静岡市、浜松市の3県3市は、新東名高速道路建設促進協議会を組織し、整備促進に向けた積極的な活動を行っており、このたび、新東名高速道路の早期全線開通や6車線化の実現等を求める決議を行い、国等へ要望活動を実施しました。

小坂橋神奈川県副知事（会長の県知事代理）と愛知県道浦技監、静岡県渡辺交通基盤部長代理は、野村国土交通審議官に要望書を手渡し、ポストコロナにあって、東京一極集中の是正による多核連携型の国づくりや、増加するモノの移動を支える新東名の整備推進などを強く要請しました。

要望活動の様子



（左から）静岡県渡辺交通基盤部長代理、野村国土交通審議官、小坂橋神奈川県副知事、愛知県道浦技監

